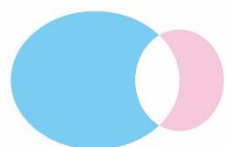


令和7年度
事業報告書



学校法人森島学園

1 法人の概要

(1) 設置する学校

- ① 専門学校浜松医療学院
 - 鍼灸学科
 - 柔道整復学科
 - アスレティックトレーナー学科
- ② 専門学校富士リハビリテーション大学校
 - 理学療法学科
 - 作業療法学科

(2) 所在地

- ① 学校法人森島学園 法人本部 静岡県浜松市浜名区貴布祢 232-3
- ② 専門学校浜松医療学院 静岡県浜松市浜名区貴布祢 232-3
- ③ 専門学校富士リハビリテーション大学校 静岡県富士市伝法 2527-1

(3) 学校法人の沿革

平成 13 年 3 月	学校法人 森島学園創立 専門学校浜松医療学院設置認可
平成 13 年 4 月	初代理事長 田村慎一氏就任 専門学校浜松医療学院開校（鍼灸学科・柔道整復学科） 初代学院長 住山正男氏就任
平成 15 年 4 月	初代理事長 田村慎一氏退任 第2代理事長 森島宏光氏就任 専門学校浜松医療学院2号館完成
平成 16 年 4 月	専門学校浜松医療学院にアスレティックトレーナー学科設置
平成 17 年 4 月	富士リハビリテーション専門学校開校（理学療法学科・作業療法学科） 初代学校長 竹之下政興氏就任
平成 19 年 3 月	専門学校浜松医療学院初代学院長 住山正男氏退任
平成 19 年 4 月	専門学校浜松医療学院第2代学院長 白井義雄氏就任 専門学校浜松医療学院名誉学院長に 住山正男氏就任
平成 20 年 3 月	富士リハビリテーション専門学校初代校長 竹之下政興氏退任
平成 20 年 4 月	富士リハビリテーション専門学校第2代校長 菊池和也氏就任
平成 22 年 11 月	学園創立 10 周年記念式典挙行 専門学校浜松医療学院創立 10 周年記念式典挙行
平成 26 年 11 月	富士リハビリテーション専門学校 10 周年記念式典挙行
平成 29 年 3 月	第2代理事長 森島宏光氏退任 森島学園学園長に就任 富士リハビリテーション専門学校第2代校長 菊池和也氏退任
平成 29 年 4 月	第3代理事長 森島康之氏就任 富士リハビリテーション専門学校第3代校長 内田成男氏就任
平成 30 年 3 月	森島宏光氏 森島学園学園長退任
平成 30 年 4 月	森島宏光氏 森島学園グループ会長に就任
令和 2 年 3 月	専門学校浜松医療学院学院長 白井義雄氏退任
令和 2 年 4 月	専門学校浜松医療学院学院長 遠藤進氏就任

令和 2 年 4 月	富士リハビリテーション専門学校校名変更 専門学校富士リハビリテーション大学校とする
令和 2 年 10 月	学園創立 20 周年記念式典挙行
令和 2 年 10 月	専門学校浜松医療学院創立 20 周年記念式典挙行
令和 3 年 4 月	専門学校浜松医療学院にスポーツメディケーション学科設置
令和 4 年 12 月	学校法人新静岡学園静岡産業大学と教育研究交流協定締結
令和 5 年 3 月	専門学校浜松医療学院にスポーツメディケーション学科廃止
令和 6 年 3 月	専門学校浜松医療学院学院長 遠藤進氏退任
令和 6 年 4 月	専門学校浜松医療学院学院長 鈴木康仁氏就任
令和 6 年 12 月	専門学校富士リハビリテーション大学校創立 20 周年記念式典挙行
令和 7 年 3 月	専門学校富士リハビリテーション大学校第 3 代校長 内田成男氏退任
令和 7 年 4 月	専門学校富士リハビリテーション大学校第 4 代校長 宮下正好氏就任

2 設置する学校、学科等

学校名	開校年月	学科等	学科開設年月
専門学校浜松医療学院	平成 13 年 4 月	鍼灸学科	平成 13 年 4 月
		柔道整復学科	平成 13 年 4 月
		アスレティックトレーナー学科	平成 16 年 4 月
専門学校富士リハビリテーション大学校	平成 17 年 4 月	理学療法学科	平成 17 年 4 月
		作業療法学科	平成 17 年 4 月

3 各校学生数

令和 8 年 3 月 1 日現在

学校名	学科	入学定員	総定員	1 年	2 年	3 年	4 年	現員数
専門学校浜松医療学院	鍼灸学科	30	90	32	29	23		84
	柔道整復学科	60	180	58	54	60		172
	アスレティックトレーナー学科	30	60	16	10			26
専門学校富士リハビリテーション大学校	理学療法学科	40	160	43	29	36	40	148
	作業療法学科	40	160	35	22	30	35	122

4 役員の概要

理事 6 名 (定数 6 名)

監事 2 名 (定数 2 名)

令和 8 年 3 月 31 日現在

区分	氏名	常勤・非常勤	摘要
理事長	森島康之	常勤	平成 13 年 4 月理事就任 平成 13 年 4 月専務理事就任 平成 29 年 4 月理事長就任
理事	鈴木康仁	常勤	令和 6 年 4 月専門学校浜松医療学院学院長就任 令和 6 年 4 月理事就任
理事	宮下正好	常勤	令和 7 年 4 月富士リハビリテーション大学校学校長就任 令和 8 年 3 月理事就任

理事	森島宏光	非常勤	平成 15 年 4 月理事就任 平成 15 年 4 月理事長就任（平成 29 年 3 月迄）
理事	小池保守	非常勤	令和 1 年 5 月理事就任
理事	小西亮輔	非常勤	令和 6 年 5 月理事就任
監事	坂田江利子	非常勤	令和 7 年 5 月監事就任
監事	村松泰成	非常勤	令和 1 年 5 月監事就任

5 評議員の概要

評議員 7 名（定数 7 名）

令和 8 年 3 月 31 日現在

区 分	氏 名	区 分	氏 名
評議員	大石篤郎	評議員	杉山徳充
評議員	久米行子	評議員	植田英則
評議員	藤本多恵子	評議員	松本実生
評議員	中山理		

6 教職員の概要

令和 8 年 3 月 1 日現在

		森島学園本部	専門学校浜松医療学院	専門学校富士リハビリテーション大学校
教員	本務		20	17
	兼務		27	111
職員	本務	6	6	8
	兼務	1	3	1

7 令和 7 年度事業報告

(1) 事業の概要

専門学校浜松医療学院（浜松校）および専門学校富士リハビリテーション大学校（富士校）の学生数の状況について、令和 8 年 3 月 1 日現在、在籍者数は 552 名、在籍率は 85%である。進学環境の変化が続く中であっても、一定の規模を維持できている点は、これまでの教育活動および広報の取組の積み重ねによるものと捉えている。

教育活動については、両校ともに教育課程に基づき、授業、実習、学生支援等の学事業務をおおむね計画どおり実施した。教職員が連携し、学生一人ひとりの成長を支える教育に取り組んできたところである。

令和8年3月に両校合わせて164名が卒業し、それぞれの進路へと進んでいる。

国家試験においても学生は健闘しており、特に富士校作業療法学科では合格率100%を達成した。これは日頃の教育成果が具体的な形として現れたものといえる。一方で、さらなる合格率の向上に向けて課題の整理を進め、次年度はその改善に取り組んでいく。

学生募集については、令和8年度入学者に関し、日常的な広報活動やオープンキャンパス等、教職員が一体となって取り組んできた結果、両校ともにほぼ定員を満たす状況となっている。

運営面では、学園規程等の見直しを進め、実態に即した制度運用となるよう整理を行い、職員の働きやすさの向上に努めている。就業規則の見直しの中で、本学園独自の柔軟な働き方に関する規定を改正しており、その結果、育児との両立のしやすさが向上している。また、制度導入の初年度であったユニバーサリ休暇（特別有給休暇）については、学園全体で高い取得率となり、制度の趣旨が職員に浸透していることが伺える。職員のプライベートの時間の充実にも一定の効果が見られた。

施設・設備面では、浜松校において寄附事業所からの寄附金を活用し、施設改修および教材整備を実施した。これにより、教育環境の充実を図ることができた。

また、学園の国際交流の推進として、令和7年11月にカンボジアで開催されたジャパンフェスに参加し、現地において国際交流を図るとともに、柔道整復および鍼灸分野の普及活動を展開した。その結果、本学園の教育内容に関心を示し、浜松校柔道整復学科への留学を希望する者が現れ、4月入学に至った。これを受け、令和8年度からの外国籍留学生受入れに向けた学内規程を整備し、受入体制を構築した。

財務面については、収支バランスを意識した運営に努めた結果、経常収支は目標額を達成した。

以上のとおり、令和7年度は各分野において、おおむね計画どおりに事業を実施し、一定の成果を上げることができた。今後も引き続き、教育の質の向上と安定した学園運営に取り組んでいくものである。

(2) 令和7年度理事会・評議員会

・第1回 理事会・評議員会（開催：令和7年5月26日）

第1号議案 令和6年度 事業報告

・本部 ・専門学校浜松医療学院 ・専門学校富士リハビリテーション大学校

第2号議案 令和6年度 決算報告について

・監事による監査報告

第3号議案 令和7年度 第一次補正予算(案)について

第4号議案 森島学園 職員就業規則(柔軟な働き方を実現するための措置)の追加について

第5号議案 森島学園 職員給与規程(管理・監督者手当の支給基準)の改正について

第6号議案 鍼灸接骨院のアジア展開計画について

第7号議案 役員改選について

・第2回 理事会・評議員会（開催：令和7年8月4日）

第1号議案 森島学園 寄附行為の一部改正について

第2号議案 令和7年度第二次補正予算(案)について

第3号議案 専門学校浜松医療学院 校舎各室の用途の変更について

第4号議案 専門学校富士リハビリテーション大学校 臨床実習施設の申請について

第5号議案 専門学校富士リハビリテーション大学校 学則変更ならびに校舎各室の用途変更について

第6号議案 森島学園 職員就業規則の一部改正について

第7号議案 森島学園 役員等の報酬等支給及び費用に関する規程の一部改正について

第8号議案 森島学園の将来計画と展望について

- 第3回 理事会・評議員会（開催：令和7年12月19日）
 - 第1号議案 森島学園 寄附行為の一部改正について
 - 第2号議案 令和7年度第三次補正予算(案)について
 - 第3号議案 森島学園 経理規則施行規程の一部改正について
 - 第4号議案 森島学園 職員退職金給付規程の一部改正について
 - 第5号議案 森島学園 役員等の報酬等支給及び費用に関する規程の一部改正について

- 第4回 理事会・評議員会（開催：令和8年3月16日）
 - 第1号議案 専門学校浜松医療学院の学則変更について
 - 第2号議案 専門学校浜松医療学院の校舎各室の用途変更について
 - 第3号議案 専門学校浜松医療学院の外部実習施設変更（追加）について
 - 第4号議案 外国籍留学生受入れに関する諸規程について
 - 第5号議案 令和7年度 第四次補正予算(案)について
 - 第6号議案 令和8年度 事業計画(案)について
 - 第7号議案 令和8年度 当初予算(案)について
 - 第8号議案 次回理事会・評議員会開催(案)

以上

専門学校浜松医療学院 令和7年度事業報告

学院長 鈴木 康仁

1. 教育活動

□ 学学生在籍数推移 令和7年4月1日：286名 ⇒ 令和8年3月31日：278名

学科	1年生		2年生		3年生	
鍼灸学科 退学率：4.6%	R7.4.1	32名	R7.4.1	30名 (休学1名)	R7.4.1	25名
	R8.3.31	32名	R8.3.31	28名	R8.3.31	23名
柔道整復学科 退学率：2.3%	R7.4.1	58名	R7.4.1	55名	R7.4.1	60名 (休学1名)
	R8.3.31	57名	R8.3.31	54名	R8.3.31	58名
AT学科 退学率：0%	R7.4.1	16名	R7.4.1	10名	—	—
	R8.3.31	16名	R8.3.31	10名	—	—
令和7年度 退学率：2.8%						

□ 国家試験および就職状況

第34回 はり師・きゅう師国家試験

国家試験	受験者	合格者	合格率	全国平均
はり	19名	13名	68.4%	67.2%
きゅう	19名	13名	68.4%	70.5%

第34回 柔道整復師国家試験

国家試験	受験者	合格者	合格率	全国平均
柔整	54名	45名	83.3%	71.5%

令和7年度 公認アスレティックトレーナー認定試験 ※：二次試験結果は発表待ち

一次試験	受験者	合格者	合格率	二次試験	合格者	合格率
理論	9名	6名	66.7%	実技	—	—%

□ 就職状況

◆求人（進学者/在籍者/聴講希望者を除く学生数に対する求人倍率）

・求人事業所件数（延数）：443事業所 ・求人倍率（就職対象者/求人事業所件数）：12.2倍

◆就職率（就職対象者に対する就職率：令和8年3月14日時点）

・鍼灸学科：100% ・柔道整復学科：100% ・AT学科：全員がWスクールのため就職対象者なし

2. 学生募集活動・広報活動

□ 中学校授業協力：4校、高校授業協力：12校、高校内ガイダンス（静岡県西部、愛知県東部）：60回/年

□ 会場ガイダンス（静岡県西部、愛知県東部）：36会場/年

□ 高校訪問（学生募集エリア・ターゲット校 進路課・体育課を中心に）：各校5～7回/年

□ オープンキャンパス・体験ウィーク年間参加者数（延数）：326名 ※1回あたりの参加者平均：14.9名

□ 選抜区分別入学者数（延数109名）

AO入試：14名 指定校推薦入試：50名 高校推薦入試：10名 高校一般入試：3名

社会人入試（学内他学科進学を含む）：13名 AT一般選抜：19名（内14名は新入生Wスクール）

以上

専門学校 富士リハビリテーション大学校 令和7年度事業報告

学校長 宮下 正好

1 教育理念

豊かな人間性と発想力を兼ね備えたリハビリテーションのプロフェッショナルの育成

2 事業の概要

理学療法士・作業療法士を目指す学生に、実践的な知識・技術を4年間で教授し、資格取得(国家試験)、医療・福祉施設への就職を以て社会に貢献する。

3 学籍状況 / 進級・卒業状況

学科	年度当初学生数(在籍率)	進級・卒業(%)	留年(%)	中退(%)
理学療法学科	153名 (95.6%)	147名 (96.1%)	1名 (0.7%)	5名 (3.3%)
作業療法学科	125名 (78.1%)	113名 (90.4%)	7名 (5.6%)	5名 (4.0%)
合計	278名 (86.9%)	260名 (93.5%)	8名 (2.9%)	10名 (3.6%)

4 教育活動

(1) 教育課程

- ① 理学療法学科：R02-カリキュラム 3,585 時間 (1年 855 時間/2年 915 時間/3年 990 時間/4年 825 時間)
- ② 作業療法学科：R02-カリキュラム 3,675 時間 (1年 870 時間/2年 945 時間/3年 990 時間/4年 870 時間)

(2) 学業到達の状況 (FRI-GPA による学業到達状況)

学科	2.5未満(%)	2.5-3.0未満(%)	3.0-3.5未満(%)	3.5-4.0未満(%)	4.0以上(%)
理学療法学科	6名 (3.9%)	17名 (11.1%)	29名 (19.0%)	66名 (43.1%)	35名 (22.9%)
作業療法学科	11名 (8.8%)	15名 (12.0%)	27名 (21.6%)	39名 (31.2%)	33名 (26.4%)
合計	17名 (6.1%)	32名 (11.5%)	56名 (20.1%)	105名 (37.8%)	68名 (24.5%)

※GPA 3.0 以上：**82.4%** (理学療法学科 85.0%、作業療法学科 79.2%)

(3) 課外教育

- ① 初年次教育：プレスクーリング(R8年度入学予定者)参加登録 73 名、行動履歴・グループ指導(1年前期)
- ② 人体解剖見学実習：令和7年5月30日、浜松医科大学、両学科2年生
- ③ 多職種連携合同演習：富士市立看護専門学校、静岡県立看護専門学校、等

(4) 資格取得・キャリア支援

- ① 第61回 理学療法士・作業療法士 国家試験

学科	受験者数		合格者数		合格率		
	新卒	聴講生	新卒	聴講生	新卒	聴講生	全体
理学療法学科	39名	3名	38名	3名	97.4%	100.0%	97.6%
作業療法学科	30名	5名	30名	5名	100.0%	100.0%	100.0%

※ 全国合格率：理学療法士 89.7%(新卒 94.9%,既卒 35.0%) / 作業療法士 91.6%(新卒 96.6%,既卒 49.8%)

- ② JSPA パラスポーツ指導員取得人数：初級 47 名 (PT 2 年 28 名, OT 2 年 19 名)
中級 10 名 (PT 4 年 9 名, PT 2 年 1 名)
- ③ 就職説明会：令和7年7月24日、令和8年3月12日(オンライン)
- ④ 就職状況 (令和8年4月14日現在、対象は国家試験合格者)

学科	求人	県内就職	県外就職	備考(就職先等)
理学療法学科	2,506 件	28 名	9 名	リハ病院、クリニック、公立病院、一般病院、老健 等
作業療法学科	1,936 件	25 名	4 名	リハ病院、一般病院、精神科 等

5 募集・広報

- (1) 資料請求数、ガイダンス参加数（令和7年3月1日～令和8年2月28日）

資料請求数	会場ガイダンス参加数	高校ガイダンス参加数
2,005件	17回（155名）	56回（466名）

- (2) オープンキャンパス（令和7年3月1日～令和8年2月28日）※通常開催,OC週間,出張OC等

	1年生	2年生	3年生	社会人	合計
参加人数	17名	166名	287名	5名	475名
ネット参加人数	17名	135名	142名	4名	298名

- (3) 入学試験結果（合格者数）・入学者数

学科	AO	指定校	高校推薦	高校一般	社会人	スカシップ	合計	入学辞退	入学者数	充足率
理学療法学科	12名	28名	0名	2名	1名	1名	44名	1名	43名	107.5%
作業療法学科	9名	15名	2名	2名	3名	2名	33名	2名	31名	77.5%
(合計)	21名	43名	2名	4名	4名	3名	77名	3名	74名	92.5%

6 教育環境の整備

- (1) 校舎・設備工事：漏水修繕工事
 (2) 教育機器(購入)：感覚統合療育遊具、低周波治療器(1)、治療ベッド(6)、吸引シミュレーター(1)

7 地域貢献活動

- (1) 富士市の事業への協力：訪問型サービス C(富士市福祉部高齢者支援課)、富士川キウイマラソン コンディショニングブース(富士市スポーツ協会) R7/11/23・利用者 280名、健康づくりデイトレーニング従事者研修 講師(富士市福祉部高齢者支援課) ほか
 (2) 産学連携事業：富士市 SDG's 推進事業「FUJI 3S プロジェクトエッグ 健康応援フェスタ」(富士リハ,清水エスパルス,中北薬品) R8/1/23, 2/3・参加者各 30名
 (3) 他校への授業協力：静岡県立看護専門学校、富士市立看護専門学校、富士市立高校、富岳館高校、富士宮西高校、沼津市立沼津高校、静岡女子高校、吉原第一中学校、ほか
 (4) 部活動サポート：沼津中央高校(サッカー,バドミントン)、沼津商業高校(弓道)

8 その他

- (1) 第37回全国専門学校軟式野球選手権大会 出場：静岡県大会を優勝し、R7/11/24から開催の全国大会(倉敷マスカットスタジアム)に出場。初戦敗退。

第61回国家試験は、前年度の合格率低下から1年での回復を成し遂げた。特に作業療法学科が100%を達成し、大きな成果が見られた。しかし、GPAや進級率では課題が残る。中退率4%以内となっているが、そこで良しとせず、さらなる教育活動の充実を目指す。募集活動では、オープンキャンパスのネット参加数が昨年度に続き、140名を超えたが、作業療法学科入学者が4名減少となった。今年度の結果を基に、次年度はオープンキャンパスへの更なる誘導に繋がる施策を打ち、作業療法学科の入学者増加を目指す。地域貢献活動では、今年度も富士市の事業への協力、高校・中学への授業協力等に積極的に取り組めた。「健康応援フェスタ」は好評であり、寄付企業から次年度も寄附の申し出があり、次年度の開催に繋げることが出来た。

3カ年中期計画の1年目であったが、教育活動・募集活動・地域貢献活動がバランスよく展開でき、次年度以降につながる成果が見られた。現状に満足せず、課題とも向き合い、次年度の事業を進めていきたい。